外国語学部
グローバル・リベラルアーツ学部

2027年度

入学者選抜要項

総合型選抜（10月選考）

Kanda
University of
International
Studies

出願から入学までの流れ

入学者選抜要項入手 必要書類の準備	入学者選抜要項を、よくお読みください。 調査書や写真、志望理由書、英語資格の証明書等、出願に必要な書類を揃えてください。	6月中旬～
↓		
入学検定料の支払	金融機関窓口にてお支払いください。	8/20(木)～ 9/10(木)
↓		
必要書類の送付	必要書類を簡易書留・速達郵便で送付してください。	9/3(木)～ 9/10(木) ※締切日消印有効
↓		
プレゼンテーション資料の提出	大学の指定する方法でプレゼンテーション資料を提出してください。 *英米語学科、アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科、グローバル・リベラルアーツ学科	9/17(木)～ 9/24(木)
英語動画の提出	大学の指定する方法で英語動画を提出してください。 *国際コミュニケーション学科	
↓		
受験票の送付	受験票および受験に必要な情報を送付します。	9/24(木) 発送
↓		
受験	学部・学科・専攻によって集合日時が異なります。 集合日時は受験票で確認してください。	10/3(土)～ 10/4(日)
↓		
合否結果発表	合否結果通知を本人宛に速達郵便で送付します。	11/2(月) 発送
↓		
入学手続	① 金融機関の窓口から初年度学費等を納入してください。 ② 入学手続期間内に入学手続書類を提出してください。	11/4(水)～ 11/11(水)
↓		
入学許可書	入学手続完了者には、「入学許可書」を本人宛に送付します。	12月下旬
↓		
入学前教育(必須受講) 入学前交流会	入学前教育のコンテンツにはそれぞれ受講・提出期日があります。 必ず期日までに取り組みを完了してください。	1月～3月
↓		
新入生英語テスト等	英語テスト等を実施します。 ＊日程は12月下旬にお知らせします。	3月下旬～ 4月上旬
↓		
入学式	神田外語大学または大学近隣の施設で実施する予定です。	4月上旬

CONTENTS

	建学の理念	1
	アドミッション・ポリシー	1
	生成系AI等の利用について	3
1	本入学試験の目的	4
2	募集学部・学科・専攻および募集人員	5
3	選考日程	5
4	選考方法	6
5	出願基準・条件	7
6	出願書類	8
7	プレゼンテーション資料・英語動画・参考資料リストの提出	11
8	プレゼンテーション・英語動画について	
	英米語学科	12
	アジア言語学科 中国語専攻	13
	アジア言語学科 韓国語専攻	14
	アジア言語学科 インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻	15
	イベロアメリカ言語学科 スペイン語専攻	16
	イベロアメリカ言語学科 ブラジル・ポルトガル語専攻	17
	国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻、国際ビジネスキャリア専攻	18
	グローバル・リベラルアーツ学科	19
	試験当日に使用するプレゼンテーション資料	20
	試験当日のプレゼンテーション・質疑応答・面接等の進行について	20
9	参考文献リスト・参考資料リストの書き方	21
10	入学検定料	22
11	出願方法	22
12	出願上の注意	22
13	受験上および修学上の配慮について	23
14	受験票の送付	23
15	受験上の注意	23
16	合否結果通知の送付	24
17	入学手続	25
18	入学前教育（必須受講）	26
19	入学検定料の返還について	26
20	ノートパソコンの必携について	27
21	入学試験 Q&A	27
22	個人情報の取扱いについて	28

建学の理念

言葉は世界をつなぐ平和の礎

Languages are the foundation to link the world in peace.

アドミッション・ポリシー

外国語学部

神田外語大学の理念は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」である。これを受け、外国語学部の教育は、高度な言語運用能力を身につけ、専攻言語と同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授する。それにより、国際社会に貢献しうる豊かな教養とコミュニケーション能力を身につけた自立した人材を養成することを目的とする。本学部では、次に掲げる能力や資質を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学部での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学部での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】 国際社会の諸問題に関心をもち、自らの問題として考え学修し、表現する力

【コミュニケーション能力】 対話を通じ、異なる価値観や背景をもつ人と相互に理解しあう力

2. 入学後の学びに対する姿勢

（1）参加型かつ実践的な授業を通して主体的に学び、高度な言語運用能力を修得する強い意志をもつ人
（2）多様な価値観や背景をもつ人と、自ら積極的にコミュニケーションを図り、協力しあって、様々な課題の解決に取り組める人
（3）国際社会の一員として活躍する意欲をもち、諸外国の歴史や文化や、社会を深く理解しようとする人

3. 評価の方法

本学部では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査等によって受験者の能力や姿勢を評価する。

英米語学科

英米語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】
- ・英語圏の言語・歴史・文化・社会に関心をもち、問題意識をもって主体的に情報を集め、情報を分析、評価する力
- ・資料や文献を批判的に読み解き、筋道を立てて粘り強く考える力

【コミュニケーション能力】 授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって、問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

（1） 様々な分野に貢献できる高度な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、自主的に学修できる人
（2） 日英語を駆使して情報を収集し関心のある分野の理解を深めることのできる人。また、様々な問題を多角的に考察し、自分の意見を論理的に表現することのできる人
（3） 英語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、様々な場面において、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

アジア言語学科

アジア言語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】
- ・専攻言語圏の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】 授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

（1） 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
（2） 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
（3） 専攻言語及び同言語圏の言語・歴史・文化・政治・経済・社会に関する幅広い教養に基づき、人々の多様性を尊重し、多文化共生の観点から国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
（4） 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現をおこない問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

イベロアメリカ言語学科

イベロアメリカ言語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】
- ・専攻言語圏の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】 授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

（1） 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
（2） 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
（3） 専攻語及び同言語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人
（4） 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現をおこない問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】
- ・国際社会の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】 授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

（1） 高度な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、積極的に協働学習に取り組もうとする人
（2） コミュニケーションや国際関係、国際ビジネスに関する深い教養に基づき、文化的背景の異なる人々と意思疎通を図り、国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
（3） 興味関心のある分野において、国際コミュニケーションの観点から分析し、考察を論理的に発信することで、問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

グローバル・リベラルアーツ学部

神田外語大学の理念は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」である。これを受け、グローバル・リベラルアーツ学部の教育は、「高度な英語運用能力と多文化共生力を備え、わが国と世界の困難な課題に立ち向かい、平和と繁栄の招来に主体的に貢献し得る人材を育成」することを目的としている。本学部では、次に掲げる能力や態度を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学部での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学部での学修に必要な日本語の読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】 国際社会の諸問題に関心をもち、自主的に学修し考え表現する力

【コミュニケーション能力】 他者と積極的にコミュニケーションを図り、協働する姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

（1） 幅広い教養を身につける意欲をもち、生涯にわたって自立学習者であろうとする人
（2） グローバルな視点から現代社会の課題に取り組み、平和に貢献する意欲を持つ人
（3） 留学を通じて自己を成長させようとする強い意志をもつ人

3. 評価の方法

本学部では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

［グローバル・リベラルアーツ（GLA）学部　出願にあたっての留意点］

グローバル・リベラルアーツ学部では、1年次前期の海外スタディ・ツアー（リトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレムの4地域のうち1地域に留学）、3年次の後期に実施する留学を必須としています。
これらの留学が可能なことを前提としたカリキュラムであることにご留意ください。
※社会情勢の変化等の理由により、渡航先を変更する場合があります。

生成系AI等の利用について

本学の各入学者選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、エッセイ、時事問題、学力試験、書類審査等によって受験者の能力や姿勢を評価します。試験の準備や対策、課題作成等にあたり、生成系AI等の活用は制限しませんが、そこから提供されたものをそのまま使用することは認めません。自らその内容の根拠や信憑性を確認したうえで表現する必要があります。このことをふまえて試験準備に努めてください。

1　本入学試験の目的

外国語学部

総合型選抜（10月選考）（以下本選抜とします）では、基本的な知識・技能・コミュニケーション能力だけではなく、これからの時代に求められる「思考力・判断力・表現力」「課題に向き合う主体性」をプレゼンテーション、質疑応答や面接を通して多面的に評価します。
また、本選抜の入学予定者には、入学前教育をオンデマンドにて必ず受講していただきます。入学までの時間を大切に、進んで課題に取り組む人物を求めています。

グローバル・リベラルアーツ学部

本選抜では、グローバル・リベラルアーツ学部のアドミッション・ポリシーに示す能力・姿勢のうち、次の項目に主眼を置いた選考をおこないます。

1. 入学前に修得が期待される能力
   ［知識・技能］ 本学部での学修に必要な日本語の読解力と論理的表現力
2. 入学後の学びに対する姿勢
   ⑴ 幅広い教養を身につける意欲をもち、生涯にわたって自立学習者であろうとする人
   ⑵ グローバルな視点から現代社会の課題に取り組み、平和に貢献する意欲をもつ人
   ⑶ 留学を通じて自己を成長させようとする強い意志をもつ人

出願に際しては、カリキュラムや留学制度について十分に確認し、本学部の特性を理解したうえで、選考に臨んでください。
また、本選抜の入学予定者には、入学前教育をオンデマンドにて必ず受講していただきます。入学までの時間を大切に、進んで課題に取り組む人物を求めています。

2　募集学部・学科・専攻および募集人員

学部・学科		専攻	入学定員（全募集定員）	総合型選抜（10月選考）募集人員
外国語学部	英米語学科	－	340名	39名
	アジア言語学科	中国語専攻	56名	11名
		韓国語専攻	56名	11名
		インドネシア語専攻	28名	5名
		ベトナム語専攻	28名	5名
		タイ語専攻	28名	5名
	イベロアメリカ言語学科	スペイン語専攻	84名	15名
		ブラジル・ポルトガル語専攻	44名	7名
	国際コミュニケーション学科	国際コミュニケーション専攻	167名	16名
		国際ビジネスキャリア専攻	30名	4名
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科		－	60名	12名
合　計			921名	130名

※出願状況および試験結果等により、合格者数が募集人員を下回る場合があります。

3　選考日程

出願期間	2026年9月3日（木）～9月10日（木）　※締切日消印有効
プレゼンテーション資料・英語動画提出期間	2026年9月17日（木）～9月24日（木）
受験票発送日	2026年9月24日（木）
試験日	2026年10月3日（土）および10月4日（日） ※外国語学部国際コミュニケーション学科はいずれか1日
合否結果通知発送日	2026年11月2日（月）
入学手続期間	2026年11月4日（水）～11月11日（水）

荒天等、不測の事態により上記の日程で試験を実施できない場合の予備日（10月10日（土）～10月11日（日））の実施となる場合は、本学Webサイト等を通じてお知らせします。

4　選考方法

本選抜は、神田外語大学（千葉市美浜区若葉1－4－1）において対面形式にて実施します。

外国語学部		
英米語学科※1	－	1. 書類審査 2. 英語テスト（約45分）＊マークシート方式 英文法（15分）＋英語リスニング（約30分） 3. 英語プレゼンテーション（約15分） ・英語プレゼンテーション（4分以内） ・英語による質疑応答（約8分） 4. 日本語面接（約5分）
アジア言語学科	中国語専攻 韓国語専攻 インドネシア語専攻 ベトナム語専攻 タイ語専攻	1. 書類審査 2. 英語テスト（約45分）＊マークシート方式 英文法（15分）＋英語リスニング（約30分） 3. 日本語プレゼンテーション（約25分） ・日本語プレゼンテーション（10分以内） ・日本語による質疑応答・面接（約15分） ※イベロアメリカ言語学科の日本語プレゼンテーションは7分以上10分以内
イベロアメリカ言語学科	スペイン語専攻 ブラジル・ポルトガル語専攻	
国際コミュニケーション学科	国際コミュニケーション専攻 国際ビジネスキャリア専攻	1. 書類審査 2. 英語動画審査 ・英語動画（2分30秒以上3分30秒以内）を事前に提出 3. 日本語による質疑応答・面接（約12分）
※1 英米語学科の受験者で、外国において学校教育における12年の課程のうち通算3年以上の教育を受けた者は、上記選考方法のほかに日本語試験（動画（約5分）を視聴し、その内容理解を問う出題（30分：記述式））が課されます。試験日は10月3日（土）です。		

グローバル・リベラルアーツ学部	
グローバル・リベラルアーツ学科	1. 書類審査 2. 英語（1）（2）のいずれかまたは両方を選択 （1）英語テスト（約45分）＊資格保有者は受験不要 英文法 15 分＋英語リスニング約 30 分 ※（2）の英語資格の換算点のみで判定を希望する場合、英語テストの受験は不要 ※資格保有者が受験した場合は、英語テスト得点と英語資格の換算点の高い方を判定に使用 （2）英語外部試験の活用（資格保有者のみ） 【表 1】に基づき得点換算。出願時に証明書類を提出 3. 日本語プレゼンテーション（10分以内） プレゼンテーション実施後に内容を振り返り、リフレクションシートに記入 4. 日本語による質疑応答・面接（約15分）

【表1】グローバル・リベラルアーツ学部 英語資格の「英語テスト」得点換算表

換算率	英検 CSE2.0	ケンブリッジ英語検定	GETC	IELTS™	TEAP	TOEFL iBT® カッコ内は旧形式
100%	2, 304以上	160 以上	1, 180以上	5. 5以上	309以上	4. 0（72以上）
90%	2, 150-2, 303	150-159	1, 150-1, 179	5. 0	253-308	3. 5（59-71）
80%	1, 980-2, 149	140-149	930-1, 049	4. 0-4. 5	225-252	3. 0（44-58）
60%	1, 800-1, 979	130-139	840-929	-	195-224	-

※英語資格基準はオフィシャルスコアに限る

※実用英語技能検定は、従来型、CBT、S-CBT、S-Interview いずれも可

※実用英語技能検定、ケンブリッジ英語検定以外の資格取得日は出願締切日から遡って原則2年以内に限る

※TEAP（4技能）、TOEFL iBT®は同一受験日のスコア合計のみ有効

5　出願基準・条件

学部・学科で定められた以下の出願基準・条件のすべてを満たすことが必要です。

［外国語学部・グローバル・リベラルアーツ学部　共通］

⑴ ①～③の大学入学資格のいずれかに該当する者

ただし、大学入学時の年齢が満18歳未満となる場合は、出願前に本学アドミッション＆コミュニケーション部へお問い合わせください。

① 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2027年3月31日までに卒業見込みの者

② 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2027年3月31日までに以下の A～F のいずれかに該当する見込みの者

A 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者、あるいはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者

B 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者

C 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者

D 文部科学大臣の指定した者

E 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格したものを含む）、および2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達する者

F 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達する者

⑵ 本選抜で合格した場合には、必ず入学すること

※本選抜内での学内併願はできません

⑶ 合格した場合、「入学前教育」をオンデマンドにて受講し、必ず期日までにすべてのコンテンツへの取り組みを完了すること

期日までに完了しない場合、入学が取り消される可能性があります

⑷ 本学を第一志望とし、志望学科および専攻の学習に強い意欲と明確な目標をもっている者

⑸ 入学後は他の学生の良き手本となる自覚と意欲のある者

［国際コミュニケーション学科における英語資格基準］

⑹【表2】にあるいずれかの英語資格基準を満たしていること

【表2】国際コミュニケーション学科　英語資格基準

- 実用英語技能検定　2 級合格以上
- ケンブリッジ英語検定　B1 レベル以上
- GTEC（4技能）（CBT 可）　トータルスコア1，050点以上
- IELTS™（Academic Module）Overall Band Score 4.0 以上
- TEAP（4技能）　合計240点以上
- TOEFL iBT®　バンドスコア3．0以上（旧形式 Total Score 50 点以上）

※英語資格基準はオフィシャルスコアに限る

※実用英語技能検定は、従来型、CBT、S-CBT、S-Interview いずれも可

※実用英語技能検定、ケンブリッジ英語検定以外の資格取得日は出願締切日から遡って原則2年以内に限る

※TEAP（4技能）、TOEFL iBT®は同一受験日のスコア合計のみ有効

6　出願書類

外国語学部	英米語学科	①～⑦のすべてを出願期間内に提出してください。 ⑧は任意提出書類です。 ⑨は出願後、所定の期日までに提出してください。 ※⑩⑪は不要
	アジア言語学科	
	イベロアメリカ言語学科	
	国際コミュニケーション学科	①～④、⑥～⑧のすべてを出願期間内に提出してください。 ⑩は出願後、所定の期日までに提出してください。 ※⑤⑨⑪は不要
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科		①～④、⑥～⑧のすべてを出願期間内に提出してください。 ⑨⑪は出願後、所定の期日までに提出してください。 ※⑤⑩は不要

本学所定書式に関する注意事項

1)「本学所定書式」とある用紙は、本学Webサイトよりダウンロードし、**A4サイズの用紙（白色）に片面印刷**してください。
2)「本人自筆で記入してください」とある書類は、黒のボールペンで**受験者本人の自筆で記入してください**。鉛筆や消すことができるペンは使用しないでください。修正をする時は、修正ペンや修正テープを使用してください。鉛筆や消すことができるペンで書かれた場合は、受理できません。再提出が必要となります。
3)「Word（入力用）」の用紙を使用する場合は、本学Webサイトよりダウンロードし、受験者が入力したものを印刷して提出してください。
4)ホチキス留めは不要です。

① 総合型選抜（10月選考）入学志願書（本学所定書式を使用）

本人自筆で記入し、③の写真のうち1枚を貼付してください。
※高校コード欄は、本学Webサイトに掲載の「高等学校等コード表」（印刷不要）を参照して記入してください。
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/nyushi/sogo/oct/

② 総合型選抜（10月選考） 写真票（本学所定書式を使用）

本人自筆で記入し、③の写真のうち1枚を貼付してください。

③ 写真2枚

①入学志願書と②写真票に1枚ずつ貼付するための同一の写真を準備し、指定の場所に貼ってください。
試験時間中に眼鏡をかける可能性がある場合は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。
・縦4cm×横3cm、枠なしのカラー写真（スピード写真可）
・上半身、無帽、正面、背景なし
・出願日より3カ月以内に撮影したもの
・写真裏面に志望学科・専攻・氏名を記入（写真がシールタイプの場合は、縦4cm×横3cmの白紙に貼付してから裏面に記入）

④ 志望理由書（本学所定書式を使用） *学科により異なります。

英米語学科	日本語、1,200字以内（用紙3枚）	本人自筆で記入してください。
アジア言語学科 イベロアメリカ言語学科	日本語、800字以内（用紙2枚）	
国際コミュニケーション学科	日本語、800字以内	［Word（入力用）］をダウンロードし、入力してから印刷してください。
グローバル・リベラルアーツ学科	日本語／英語いずれでも可、 文字数と枚数は問わない	2種類のファイルのいずれかをダウンロードして使用してください。 ［Word（入力用）］ 直接入力して使用する書式です。ダウンロードし、入力してから印刷してください。 ［PDF（自筆/貼付用）］ 本人自筆で記入してください。 自筆でない場合は、ワープロソフト等で作成した文章を本学所定様式に貼付してください。

6　出願書類

⑤ プレゼンテーション概要（本学所定書式）

提出対象：英米語学科、アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科

英米語学科	所定書式 Word（入力用）に以下の事項を入力して印刷してください。 テーマは2つありますので、両方のテーマそれぞれについて作成してください。 テーマをひとつだけ選択することはできません。 ・ 1テーマにつき2ページ以内 ・ 記入事項： 「氏名」「氏名（英字表記）」 「プレゼンテーションテーマ」 出題されているテーマと同一にすること 「概要」 英語で100～150words （文末に概要の語数を記載） 「参考文献」 1テーマにつき文献3点以上 ・ 書き方例を本学Webサイトに掲載します。作成時の参考にしてください。
アジア言語学科 イベロアメリカ言語学科	本人自筆で記入してください。ⅰ,ⅱ,ⅲすべてを提出する必要があります。 プレゼンテーションのテーマが複数ある場合は、テーマを1つ選択して作成してください。 選択したテーマを出願後に変更することはできません。 ⅰ 表紙 ⅱ プレゼンテーション概要： 日本語で1,200字以内 ※当日発表するプレゼンテーションの構想を記入してください。 ⅲ 参考文献リスト： 記入例は21ページを参照してください。 ※参考文献リストのみワープロソフトで作成することも可能。

⑥ 調査書等

卒業見込者および修了見込者は出願日より3カ月以内に発行されたもの、既卒者は卒業後に発行されたものを提出してください。卒業見込者は出願時点で最新の成績が記載された調査書を提出してください。

A	・ 高等学校・中等教育学校の卒業（見込）者 ・ 特別支援学校高等部の修了（見込）者 ・ 高等専門学校第3学年の修了（見込）者 ・ 文部科学大臣が認定または指定した在外教育施設の修了（見込）者	➡ ・ 出身学校の調査書（開封無効）
	※海外留学により単位認定を受けた場合は、認定単位数を調査書に明記し、留学先の学校が発行する「成績や在籍に関する証明書」を必ず調査書に添付してください。証明書がコピーの場合には、高等学校長印で原本と相違ないことの証明を受けてください。 ※高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）により単位認定を受けた場合は、当該科目の「科目合格証明書」を併せて提出してください。 ※卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。	
B	・ 外国の学校等の修了（見込）者 ・ 専修学校高等課程の修了（見込）者	➡ ・ 修了（見込）証明書 ・ 成績証明書
	「修了（見込）証明書」と「成績証明書」を両方提出してください。なお、日本の高等学校に在籍した場合は、その高等学校の「調査書」も提出してください。 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身学校や大使館・総領事館で証明を受けて添付してください。	
C	高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者 （大学入学資格検定を含む）	➡ ・ 合格（見込）成績証明書（開封無効）
	高等学校で単位を修得した場合は、「単位・成績修得の証明書」（履修した高等学校等で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数と成績が記載されたもの）を併せて提出してください。	

［注意事項］

1）入学志願書の氏名が調査書や英語資格証明書等の氏名表記と異なる場合は、提出書類が本人のものであることを証明する書類（住民票の写しのコピー等）を提出してください。
ただし、戸籍上の氏名が旧字体で、調査書上の氏名が常用漢字の場合、提出する必要はありません。
（例）澤⇔沢

2）外国籍の方が通称名を使用する場合や氏名を省略した場合は、以下のいずれかを提出してください。
・通称名が記載されている住民票の写し（コピー可）
・調査書を発行する高等学校等で、同一人物であることを証明する書類（書式不問、調査書の備考欄に記入していただく方法でも構いません）

⑦ 入学検定料振込金受領書のコピー

入学検定料を振り込んだあと、振込金受領書をA4サイズの用紙に白黒でコピーして提出してください。振込金受領書の原本は必ず受験者が保管してください。

⑧ 語学検定試験の合格証明書 *学科・専攻により異なります。

合格証明書・スコア証明書はオフィシャルスコアに限り、**原本のコピー（カラー・白黒は問いません）でも可**としますが、A4サイズの用紙に記載内容が切れたり不鮮明にならないようにコピーしてください。
以下の【表3】で提出要件を確認し、【表4】の注意事項を守ってコピーを作成してください。なお、アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科の場合、語学検定試験は英語に限定しません。

【表3】

学科・専攻	提出について
英米語学科 アジア言語学科（インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻） イベロアメリカ言語学科（スペイン語専攻）	提出は任意です。 内容に応じて加点対象とします。
アジア言語学科（中国語専攻、韓国語専攻） イベロアメリカ言語学科（ブラジル・ポルトガル語専攻）	提出は任意です。 書類審査の参考とします。
国際コミュニケーション学科	**提出は必須です。** 出願基準を満たしている証明書を提出してください。
グローバル・リベラルアーツ学科	**⑵英語外部試験の活用（資格保有者のみ）を選択した場合は提出が必須となります。**

【表4】

資格名称	証明書の種類（コピー可）	注意事項
実用英語技能検定	以下のいずれかを提出 ・合格証明書 ・合格証書 ・英検CSEスコア証明書 ・個人成績表 ・英検デジタル証明書	・合格証明書は和文・英文のどちらかでも可。 ・英検デジタル証明書を使用する場合は、本学Webサイトに掲載の「デジタル証明書の提出方法」を確認してください。 ※Certification Cardは不可
ケンブリッジ英語検定	・Confirmation of Entry（受験票） ・Certificate（認定証）	・Confirmation of Entry（受験票）とCertificate（認定証）の両方を提出してください。
GTEC（4技能）	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	・検定受験の「OFFICIAL SCORE」に限ります。 ※SCORE REPORTは不可
IELTS™ （Academic Module）	Test Report Form（成績証明書）	・Test Report Form はテストセンターから直接本学に送付されるように手配することも可能です。
TEAP（4技能）	TEAP成績表	・4技能パターン（400点満点）に限ります。 ・受験時期の異なる点数の合計では認められません。
TOEFL iBT®	Test Taker Score Report	・同一受験日のスコア合計のみ有効です。 ・My Best®スコアは利用できません。 ・電子データで提供された証明書を印刷したものも可能です。

・英語資格基準はオフィシャルスコアに限る
・実用英語技能検定は、従来型、CBT、S-CBT、S-Interview いずれも可
・TEAP（4技能）、TOEFL iBT®は同一受験日のスコア合計のみ有効、複数のスコア証明書からスコアを合算して利用すること不可
・ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定以外の資格取得有効期限は、出願締切日から遡って原則2年以内に限る
・IELTS™、TOEFL iBT®の証明書をテスト機関から直接本学に送付する場合は、出願締切日までに証明書が本学に到着するように手配してください

7　プレゼンテーション資料・英語動画・参考資料リストの提出

⑨～⑪ 提出期間：2026年9月17日(木)～9月24日(木)　※指定期間以外は受理できません。

- 事前審査および試験官用資料に使用するため、事前のファイル提出が必要です。
- 9月17日(木)より提出フォームへのリンクを本学Webサイトの総合型選抜(10月選考)のページに掲載します。
- 指定する提出フォームにアクセスし、必要事項を入力してファイルを送信してください。
- 提出する際は、【表5】に指定されたファイル名をつけてください。

対象学科	提出資料
英米語学科 アジア言語学科 イベロアメリカ言語学科 ※提出ファイルの形式等は12～17ページで確認してください。	**⑨ プレゼンテーション資料** ➢ プレゼンテーション資料はPDF形式(.pdf)にして提出してください。 ➢ 英米語学科はテーマごとにファイルを作成し、2つのファイルを送信してください。
国際コミュニケーション学科 ※提出ファイルの形式等は18ページで確認してください。	**⑩ 英語動画** ➢ 指定されたファイル形式動画を作成し、動画データを提出してください。 動画ファイル形式：「mp4」または「mov」 ファイルサイズ： 5GB以内 その他：「横動画」を推奨
グローバル・リベラルアーツ学科 ※提出ファイルの形式等は19ページで確認してください。	グローバル・リベラルアーツ学科は⑨と⑪の両方を送信してください。 **⑨ プレゼンテーション資料** ➢ プレゼンテーション資料はPDF形式(.pdf)にして提出してください。 **⑪ 参考資料リスト** ➢ 参考資料リストはWebサイトに入力用ファイル(Word 形式)を用意します。ダウンロードしてプレゼンテーションを準備するにあたって参考にした資料を記入してください。

【表5】指定ファイル名	英米語学科 ※テーマごとにファイルを作成	Theme1__神田陽子 Theme2__神田陽子
プレゼンテーション資料を提出する際は、PDF形式(.pdf)にして、指定されたファイル名をつけて送信してください。 ● 右は神田陽子さんがファイル名を付けた例です、氏名部分を受験者名(姓・名の順)にしてください。 ● 国際コミュニケーション学科は動画ファイルを提出してください。 ● グローバル・リベラルアーツ学科の⑪参考資料リストのみWordファイルでの送信を可とします。	中国語専攻	中国語__神田陽子
	韓国語専攻	韓国語__神田陽子
	インドネシア語専攻	インドネシア語__神田陽子
	ベトナム語専攻	ベトナム語__神田陽子
	タイ語専攻	タイ語__神田陽子
	スペイン語専攻	スペイン語__神田陽子
	ブラジル・ポルトガル語専攻	ブラジル・ポルトガル語__神田陽子
	国際コミュニケーション専攻　※動画ファイル	国際コミュニケーション__神田陽子
	国際ビジネスキャリア専攻　※動画ファイル	国際ビジネスキャリア__神田陽子
	グローバル・リベラルアーツ学科 ※資料リスト(Word 形式)にも同じ名前をつけてください	GLA__神田陽子

【注意事項】

- 資料は指定の提出フォームから一度しか送信できません。
- 送信前に以下の項目を確認してから、受験する学科・専攻の提出フォームから送信してください。
  ・本学の指定する形式で提出資料を作成、指定するファイル名であること
  ・受験する学科が指定するファイルすべてが揃っていること
- 問題なく完了した場合はファイルをアップロードしたことを示す送信完了画面が表示されます。受領の通知はありません。
- ファイルサイズが大きい場合、アップロードが完了するまで時間がかかることがあります。また、指定のファイルサイズを超過している場合は、操作が完了できない可能性があります。
- スマートフォンを使用して動画ファイルを送信する場合、各自の通信契約内容によっては本学の指定するファイルサイズ(5GB以内)であってもサイズ超過により送信操作を完了できないことがあります。送信完了画面が表示されずにアップロード画面に戻った場合は、パソコン等、別の機器を使用してください。
- アップロード操作に問題が発生した場合は、速やかに本学アドミッション＆コミュニケーション部までご連絡ください。
- 提出された資料により事前審査をおこない、試験当日の質疑応答・面接を実施します。また、本学で印刷して試験官用の資料として使用します。なお、受験者は自身がプレゼンテーションに使用する資料を、試験当日に持参する必要があります。
  20ページで確認してください。

8　プレゼンテーション・英語動画について

英米語学科

プレゼンテーション
テーマ

プレゼンテーション時間:
4分以内

以下の2つのテーマについて、英語によるプレゼンテーションを用意してください。

試験当日はどちらか1つのテーマのプレゼンテーションをおこないますが、どちらをおこなうかは、当日に試験室で指示します。従って、テーマを自分で選択することはできません。どちらのテーマにおいても自分の視点を明確にしたプレゼンテーションを準備してください。プレゼンテーションの内容、構成、話しぶり、また英語力やプレゼンテーションの理解のしやすさ、説得力などを評価します。

① Diversity and Inclusion: Ideals and Challenges in Japan

② My Opinion about the Declining Birthrate and Aging Population

評価のポイント

プレゼンテーション	内容 Content	興味をひく内容で、主張はデータや事前学習に基づいており、具体的・独創的であるか。
	構成 Organization	全体が[序論]－[本論]－[結論]で構成され、主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。
	話しぶり Delivery	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか。聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。
質疑応答	英語力 English ability	発音が明瞭で聞きやすいか。文法がしっかりしており、語彙が豊富で、表現力があるか。
	流暢さ、理解しやすさ Fluency, Intelligibility	流暢に発表内容を伝えることができるか。わかりやすい英語で、聴き手が理解しやすいように説明できているか。
	説得力 Persuasiveness	質問に対し、持論を論理的に展開し、相手を説得する力があるか。

プレゼンテーション
資料の形態

PowerPoint等のプレゼンテーションソフトで作成したスライド

- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- プレゼンテーションのタイトルは、出題されるテーマと同一にして、独自のタイトルをつけないでください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- スライドは図や表を含め、すべて英語で書き、日本語で書かれたものについては、英語を併記してください。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。
- フリップ等を用いることはできません。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション
資料の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーションソフトで作成した資料をテーマごとにPDF形式のファイル(.pdf)にして、2つのファイルを送信してください。

8　プレゼンテーション・英語動画について

アジア言語学科 中国語専攻

プレゼンテーション テーマ

プレゼンテーション時間：10分以内

中国あるいは中国と日本の関わりにおいて、下記に示した①～⑨の項目のうちあなたが最も注目する項目、もしくは興味・関心を持っている項目はどれですか。

① 経済　② 文化　③ 政治・外交　④ 社会問題　⑤ 歴史
⑥ 言語　⑦ 異文化摩擦　⑧ 国際社会におけるプレゼンス　⑨ その他

一つを選び、その選択理由を述べ、選んだ項目においてあなたが注目している事柄、もしくは興味・関心のある事柄について具体的に説明してください。そのことは中国語専攻であなたが学びたいことと、どのようなつながりがありますか、また学んだことをどのように将来生かしたいと考えていますか。あなたの考え、ビジョンを交えてプレゼンテーションしてください。

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

プレゼンテーション資料の形態

AかBを選択して作成してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップのサイズや枚数に指定はありません。
- 受験者本人が持ち運びや取り扱いが可能なものにしてください。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション資料の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーション資料は使用予定の資料形態、AかBを提出してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- PDF形式(.pdf)にして提出してください。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップ等を写真に撮ってデータを提出してください。PDF形式を推奨します。
  作成例：Word で1ページに1枚の写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存、1つのファイルにまとめる。

アジア言語学科 韓国語専攻

プレゼンテーション テーマ

プレゼンテーション時間：10分以内

あなたが関心を持っている韓国に関する事柄を一つ選び、日本の状況と比較しながら論じてください。論じる際には、そのテーマに関心を持つようになった背景を述べた後、客観的なデータや具体的な事例を用いて、両国の特徴や違いを論理的に説明してください。

評価のポイント

内容	こちらからの問いかけに即した内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で受験者自身の見解を踏まえたものであるか。
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。
表現力	伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。
説得力	意欲や熱意があり、相手を納得させる力をもっているか。
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか。
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか。 発表した内容を十分に把握し、その根拠についてもきちんと答えられるか。

プレゼンテーション資料の形態

AかBを選択して作成してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料

- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料

- フリップのサイズや枚数に指定はありません。
- 受験者本人が持ち運びや取り扱いが可能なものにしてください。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション資料の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーション資料は使用予定の資料形態、AかBを提出してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- PDF形式(.pdf)にして提出してください。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップ等を写真に撮ってデータを提出してください。PDF形式を推奨します。
  作成例：Word で1ページに1枚の写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存、1つのファイルにまとめる。

8　プレゼンテーション・英語動画について

アジア言語学科 インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻

プレゼンテーション テーマ

プレゼンテーション時間: 10分以内

次の2つのテーマの中から1つを選び、それについて論じなさい。

① 近年、日本では東南アジア諸国からの就労者や移民、その家族が増加しており、同時にAI技術の発展により、翻訳やコミュニケーションの形も変化しています。AI（自動翻訳や対話システムなど）は、異文化コミュニケーションにどのような可能性をもたらし、またそこにはどのような限界があり得るでしょうか。また、あなたはそれぞれの専攻（インドネシア、ベトナム、タイ）での学びを通して、AI時代の日本における多文化共生にどのように貢献できると考えますか。

② あなたは、志望する専攻語が話されている国や地域（インドネシア、ベトナム、タイのいずれか）の食文化や音楽、芸術、伝統工芸から一つを選び、その魅力を日本に暮らす人々により深く知ってもらうイベントを日本国内で立ち上げることになりました。その国／地域の文化や民族の多様性をふまえ、日本社会に届けるべき情報の内容とイベントの運営方法を具体的に提案してください。日本国内で行われている国際交流イベントや体験型観光の事例からヒントを得てもかまいません。対象となる国／地域の文化を一方的に紹介して終わりではなく、日本とその地域とのあいだに、双方向の交流を生み出すことを目指した仕掛けであることが重要です。

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか
説得力・アピール力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

プレゼンテーション資料の形態

AかBを選択して作成してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料

- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料

- フリップのサイズや枚数に指定はありません。
- 受験者本人が持ち運びや取り扱いが可能なものにしてください。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション資料の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーション資料は使用予定の資料形態、AかBを提出してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- PDF形式(.pdf)にして提出してください。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップ等を写真に撮ってデータを提出してください。PDF形式を推奨します。
  作成例：Word で1ページに1枚の写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存、1つのファイルにまとめる。

イベロアメリカ言語学科 スペイン語専攻

プレゼンテーション テーマ

プレゼンテーション時間：7分以上10分以内

本学で何を学び、スペインやラテンアメリカ諸国と将来どのように関わっていきたいのか、スペイン語やスペイン語圏の文化・芸術、歴史・社会、ビジネスなど、あなたが興味をもっている事柄と合わせ、文献および書籍ならびに出所の確かなインターネット情報を明示しながらプレゼンテーションをしなさい。

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

プレゼンテーション資料の形態

AかBを選択して作成してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料

- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料

- フリップのサイズや枚数に指定はありません。
- 受験者本人が持ち運びや取り扱いが可能なものにしてください。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション資料の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーション資料は使用予定の資料形態、AかBを提出してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- PDF形式(.pdf)にして提出してください。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップ等を写真に撮ってデータを提出してください。PDF形式を推奨します。
  作成例：Word で1ページに1枚の写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存、1つのファイルにまとめる。

8　プレゼンテーション・英語動画について

イベロアメリカ言語学科 ブラジル・ポルトガル語専攻

プレゼンテーション テーマ

プレゼンテーション時間：7分以上10分以内

ポルトガル語圏は、ヨーロッパ、南米、アジア、アフリカに広がっています。なかでもブラジルは、国土の大きさでは世界第5位、人口の多さでも世界第7位で、日本とも深い交流の歴史を持つ親日国です。ポルトガル語圏の特徴を知るために用意された以下の3つの題目のうち、1つを選んでプレゼンテーションをしなさい。

① あなたが将来、ブラジルに関係したビジネスをするとしたら、どのようなことをしますか。ブラジル社会の特徴をいかしたユニークなビジネスの可能性を考えてください。ブラジル国内向けでも、ブラジルから国際市場を目指したものでもかまいません。たとえば、日本では当たり前となっているビジネスで、ブラジルに活かせるもの、ブラジルの持っている資源や産業で、日本やそのほかの国や地域に活かせるものなど、あなたが考えることを発表してください。ビジネスの知識よりも、ブラジルの特徴をつかんでいるかどうかが大切です。

② ポルトガル語圏の国際関係史の中で、あなたが一番興味をもっているのはどのような点ですか。国際社会におけるポルトガル語圏の特徴を述べてください。特定の歴史的トピックでも、時代の流れに焦点を当ててもかまいません。対象とする時代は問わないものとします。

③ ブラジルは大統領制を敷いています。ブラジル大統領選の候補者になったつもりで、選挙公約を考えてください。政治志向そのものよりも、ブラジル社会の特徴や抱えている課題をつかんでいるか、あなた自身のリーダーシップを伝えられるかどうかが大切です。

少し難解に感じるかもしれませんが、ブラジル・ポルトガル語専攻では、テーマについて調べることが、新たな気づきや知識を得る機会になると考えています。様々な情報の中からどのような点に着眼するか、あなた自身がどう考えるかが大切です。あなた自身が調べたことをきっかけに、将来、ポルトガル語圏とどのように関わっていきたいかをアピールしてください。

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

プレゼンテーション資料の形態

AかBを選択して作成してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料

- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料

- フリップのサイズや枚数に指定はありません。
- 受験者本人が持ち運びや取り扱いが可能なものにしてください。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション資料の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーション資料は使用予定の資料形態、AかBを提出してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- PDF形式(.pdf)にして提出してください。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップ等を写真に撮ってデータを提出してください。PDF形式を推奨します。
  作成例：Word で1ページに1枚の写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存、1つのファイルにまとめる。

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻、国際ビジネスキャリア専攻

英語動画テーマ

あなたの高校（実際の高校で作りにくい場合は、架空の高校も可）に外国から留学生が来ることになりました（留学生の名前と出身国は自分で設定してください）。
その人に向けて、あなたの高校で過ごす上で役立つ情報・その地域での滞在が楽しくなるような情報を伝える英語の動画を作ってください。

※ 動画は2分30秒以上3分30秒以内で作成。また、自分の顔が映った状態で、カメラに向かって英語を話している映像を1分30秒以上いれること。

評価のポイント

1．内容の有益性	留学生にとって有益な内容になっているか
2．英語の表現力	発音が明瞭か、文法・語彙が正確か、外国人が聞いて理解しやすいか
3．視聴者への配慮・分かりやすさ	留学生を意識した内容になっているか、留学生にとってわかりやすいか
4．動画の構成と 映像・音声の明瞭性	動画の構成は論理的か、映像と音声は明瞭か

＊オリジナリティやユーモアがあれば尚可

英語動画の形態

「mp4」または「mov」の動画ファイル形式で作成した動画

「mp4」または「mov」の動画ファイル形式で作成した動画

- 動画は2分30秒以上3分30秒以内で作成、ただし自分の顔が映った状態で英語を話している映像を1分30秒以上入れてください。
- 動画ファイルのサイズは5GB以内にしてください。サイズを超過した場合、ファイル提出時にクラウドストレージサービスへのアップロードができない場合があります。
- 使用機材は問いません。スマートフォン等での撮影も可能です。
- 審査のために再生する際、縦動画は縦横比が崩れる可能性があるため、「横動画」での作成を推奨します。

英語動画の提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

指定されたファイル形式「mp4」または「mov」のデータを提出してください。

8　プレゼンテーション・英語動画について

グローバル・リベラルアーツ学科

プレゼンテーション テーマ

プレゼンテーション時間：10分以内

指示に従い、日本語プレゼンテーションを準備してください。

あなたが探究したいテーマを提示し、その理由を説明してください。さらに、入学後どのようにその探究を進めていきたいかを、グローバル・リベラルアーツ学部での学びと関係づけながら説明してください。その際に、下記の2点を含めてください。

① これまでに学んだ知識や新たに調べたことに基づいて、探究したいテーマの背景を説明してください。

② そのテーマの探究のためにグローバル・リベラルアーツ学部で学ぶ必要があるとあなたが考える科目（語学科目は除く）または学問を2つ以上あげて、テーマとそれらの学びがどのように関係するのかを説明してください。

評価のポイント

プレゼンテーション	本課題が求めている内容を含んだプレゼンテーションになっているか ・ 探究したいテーマを提示できているか ・ テーマ設定の理由を説明できているか ・ 適切な知識に基づいてテーマの背景を説明できているか ・ 探究の内容をグローバル・リベラルアーツ学部の学びと関係づけながら説明できているか ・ テーマに対する探究への意欲が示されているか
	聴く側に伝えようとするプレゼンテーションになっているか
	指定された形式（時間・方法）に沿ったプレゼンテーションになっているか
リフレクション	自身のプレゼンテーションのポイントを自己理解できているか
	自身のプレゼンテーションを適切に評価できているか
質疑応答・面接	グローバル・リベラルアーツ学部における学びの特徴を適切に理解できているか
	グローバル・リベラルアーツ学部における留学の意味と位置づけを適切に理解できているか
	留学に関する意欲及び期待を表明できているか
	自立的な学修の意味と生涯にわたって学び続けることの意義を説明できているか
	自身のことを理解してもらおうという意欲・態度が表出できているか

プレゼンテーション資料の形態

AかBを選択して作成してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料

- 「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。
- スライドの枚数に指定はありません。
- 試験当日は本学の機器を使用し、「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、Windowsパソコンの PowerPoint2024を使用します。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料

- フリップのサイズや枚数に指定はありません。
- 受験者本人が持ち運びや取り扱いが可能なものにしてください。

※対面でのプレゼンテーションを評価するため、プレゼンテーションでは動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※スライド等に他者の作成した表やグラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

プレゼンテーション資料・参考資料リストの提出
9月17日(木)～
9月24日(木)

11ページで確認して、提出期間内に送信してください。

プレゼンテーション資料は使用予定の資料形態、AかBを提出してください

A. PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトで作成した資料
- PDF形式(.pdf)にして提出してください。

B. スケッチブックやフリップ等を用いた資料
- フリップ等を写真に撮ってデータを提出してください。PDF形式を推奨します。
  作成例：Word で1ページに1枚の写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存、1つのファイルにまとめる。

参考資料リストはWebサイトに入力用ファイル（Word 形式）を用意します。ダウンロードしてプレゼンテーションを準備するにあたって参考にした資料を記入してください。

試験当日に使用するプレゼンテーション資料

- 受験者は、試験当日にプレゼンテーション資料を持参してください（国際コミュニケーション学科を除く）。
  ・国際コミュニケーション学科は、事前提出された動画ファイルを審査に使用するため、動画ファイルの持参は不要です。
- **プレゼンテーションソフトで作成した資料を使用する場合は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。**
  ・プレゼンテーションを実施する際に使用できるファイルの形式は、「.ppt」「.pptx」「.pdf」です。PowerPoint以外のプレゼンテーションソフトで作成したスライド資料は、PDF形式で保存して持参し、使用してください。
  ・USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
  ・プレゼンテーション実施の前にUSBメモリのウイルスチェックをおこないます。
- プレゼンテーションの実施にあたっては、本学の機器を使用します。「.ppt」および「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2024を使用します。
- スケッチブックやフリップ等の資料は受験者自身が持参してください。
- 資料や台本、メモを見ながらプレゼンテーションができます。ただし、スライド投影に使用する機器以外の電子機器（スマートフォン、タブレット等）の使用は認められません。

試験当日のプレゼンテーション・質疑応答・面接等の進行について

- プレゼンテーションは定められた時間内に終えてください。
- プレゼンテーション開始までの準備時間はプレゼンテーション実施時間に含まれません。
- プレゼンテーション・質疑応答・面接は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画や音声は、合否判定以外に使用することはせず、合否判定後に消去します。

英米語学科	**① 英語プレゼンテーション：4分以内** ➢ 英語プレゼンテーションは、試験官からテーマの指示を受けてからスライド資料のセッティングをして、プレゼンテーションを開始してください。 ➢ 係員が残り時間（ 1分 ］［ 30秒 ］［ 終了 ）を提示します。 **② 英語による質疑応答：約8分** **③ 日本語面接：約5分**
アジア言語学科	**① 日本語プレゼンテーション：10分以内** ➢ 係員が残り時間（ 3分 ］［ 1分 ］［ 終了 ）を提示します。 **② 日本語による質疑応答・面接：約15分**
イベロアメリカ言語学科	**① 日本語プレゼンテーション：7分以上10分以内** ➢ 係員が残り時間（ 3分 ］［ 1分 ］［ 終了 ）を提示します。 **② 日本語による質疑応答・面接：約15分**
国際コミュニケーション学科	**① 日本語による質疑応答・面接：約12分**
グローバル・リベラルアーツ学科	**① 日本語プレゼンテーション：10分以内** ➢ プレゼンテーションの残り時間の提示はしないため、受験者自身で時間管理をしてください。時間管理のためにタイマーを使用することは可能ですが、タイマーは音が鳴らないようにしてください。 ➢ プレゼンテーションから質疑応答・面接の流れは以下のようになります。 ［ 日本語プレゼンテーション ］ ⇒ ［ リフレクションシート記入 ］ ⇒ ［ 質疑応答・面接 ］ ➢ 「リフレクションシート記入」はGoogleフォームを使用します。本学が準備するパソコンで指定のフォームを開き、指示された時間内に入力して送信をしてください。 **② 日本語による質疑応答・面接：約15分**

9　参考文献リスト・参考資料リストの書き方

- 出願書類「プレゼンテーション概要」作成時の参考として、リストの記入例を示します。書き方の形式は一つではないので、他の資料を参考に別の記入形式を採用しても問題ありません。
- 英米語学科は、「プレゼンテーション概要」に参考資料リストを記入する必要があります。本学Webサイトにある書き方例を参考にしてください。
- アジア言語学科とイベロアメリカ言語学科の参考文献リストはWord等のワープロソフトで作成することが可能です。その場合①または②いずれかの方法で作成してください。
  ①Word 等で参考文献リストの様式に則り、志望学科・専攻と氏名も入力して作成、A4サイズの用紙に印刷する
  ②文献リストの部分を Word 等で作成・印刷し、参考文献リストの用紙に貼り付ける
- グローバル・リベラルアーツ学部は作成した参考資料リストをプレゼンテーション資料と一緒に提出してください。

参考文献リストの書き方（外国語学部）

［日本語文献の場合］

単行本 著者名『書名』出版社名、発行年。
雨野武『大学教育再考』千代田堂、2002年。

翻訳書 原著者名（翻訳者名）『書名』出版社名、発行年。
ケイジ・ニコル（高橋久幸訳）『カレッジの起源』目黒出版社、1998年。
※原著者名は、ファミリーネーム・ファーストネームと表記する。

雑誌論文・雑誌記事 著者名「論文名・記事名」『雑誌名』巻号、発行年月、掲載頁。
源尊氏「サークル活動を通じたコミュニケーション能力形成の研究」『大学教育実践研究』第12巻第31号、2001年10月、93-112頁。

単行本に収められた論文 著者名「論文名」編者名『書名』出版社名、発行年、掲載頁。
竹内美和子「初年次教育における英語教育の位置づけ」、戸塚靖男編『新しい学士課程教育を構想する』台東出版、2003年、20-40頁。

新聞記事 署名がある場合は著者名「記事タイトル」『新聞名』掲載年月日（朝夕刊の別）、掲載頁。
「国会で与野党の対立つづく」『毎朝新聞』2009年4月1日（夕刊）、1頁。

インターネット上の資料 著者名「文書名」、サイト名、URL（閲覧日：年月日）
神田外語大学「キャリアサポートについて」、神田外語大学公式ウェブサイト、
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/job/counseling/（閲覧日： 2026年6月1日）。

映像資料
テレビ放送の場合：「番組名」放送局名、放送日。
「神田外語大学を訪ねて」〇×テレビ、2016年10月23日放送。

DVD などの場合：『タイトル』発売元、発売年。
『神田外語大学のすべて』〇×映画社、2016年。

［外国語文献の場合］

単行本の書名と雑誌名はイタリックにして、論文と区別する。
単行本（著者が一名） 著者名、書名、出版地：出版社名、発行年。
Anderson, Mary, *College Revolution,* Chicago: Rock College Press, 1981.
※著者名は、「ファミリーネーム，ファーストネーム」と表記する（以下同）。

単行本（著者が複数） 著者名 and 著者名、書名、出版地：出版社名、発行年。
Anderson, Mary and Takahashi, Hisayuki, *Universities in Japan,* Boston: US Books, 1999.

雑誌論文・雑誌記事 著者名、“論文名”、雑誌名、巻（号）：ページ、発行年。
Anderson, Mary, “The New Patterns of How to Teach Academic Writing”, *College Education Review,* 4(3): p.35-44, 2005

単行本に収められた論文 著者名、“論文名”、編者名 ed.、書名、出版地：出版社名、発行年。
Anderson, Mary, “The Changes in College Impact in the Past 15 Years”, Jackson, Benedict ed., *College Education and New Students,* London: Redbrick Press, 2006.

※編者名も「ファミリーネーム、ファーストネーム」と表記する。編者が複数の場合は and でつなぎ、「ed.」を「eds.」に変える。

（『神田外語大学 基礎演習ガイドブック』より抜粋）

参考資料リストの書き方（グローバル・リベラルアーツ部）

［単行本］
雨野武.『大学教育再考』. 千代田堂, 2002年.

［新聞記事］
「国会で与野党の対立つづく」. 毎朝新聞. 2009年4月1日（夕刊）, 1頁.

［インターネット上の資料］
神田外語大学.「動画でみるグローバル・リベラルアーツ学部」. 神田外語大学公式Webサイト.
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/faculties/gla/movies/,
（参照 2026年6月1日）.

10　入学検定料

入学検定料：35,000円
入学検定料振込受付期間：2026年8月20日(木)～9月10日(木)

- 振込依頼書(本学所定書式)を本学Webサイトよりダウンロードし、A4サイズの用紙(白色)に印刷してください。印刷は、カラー・モノクロのどちらでも問題ありません。
- 振込依頼書に必要事項をボールペンで記入し、金融機関(ゆうちょ銀行を除く)窓口で電信扱いにて振り込んでください。振込み後は、金融機関の収納印(出納印・領収印)が押印されていることを確認してください。
- ATM、インターネット銀行からの送金はしないでください。これらの手段で振込みした場合は、入金が確認できない場合があります。

※いったん納められた入学検定料は、原則返還いたしません。ただし、返還事由に相当する場合は、本学アドミッション＆コミュニケーション部に連絡後に指定する方法で返還申請をしてください。
※金融機関で受取人打電時に「ガッコウホウジン サノガクエン」と表示される場合がありますが、本学は「学校法人佐野学園 神田外語大学」ですので、正しい振込先となります。

11　出願方法

出願期間：2026年9月3日(木)～9月10日(木)（締切日消印有効）

- 期日内に出願書類を揃えて送付してください。
- 出願書類提出用封筒ラベル(総合型選抜(10月選考)用／本学所定書式)を本学Webサイトよりダウンロードし、A4サイズの用紙に片面印刷してください。
- 出願書類すべてを各自で用意した封筒(A4サイズが入る角形2号の封筒)に入れ、差出人欄および出願書類チェック欄を記入した封筒ラベルを封筒に貼り、郵便局から簡易書留・速達郵便で送付してください。
- 各学科・専攻で定められている資料等(プレゼンテーション資料、英語動画、参考資料リスト)は、出願書類とは別に指定された期間内に提出する必要があります。

12　出願上の注意

⑴ 出願基準・条件を満たしていることを確認してください。
⑵ 本学の窓口での出願書類の受理はできません。また、締切日を過ぎた日付の消印が押された書類や書類の不足は受理できません。
⑶ 出願書類に不足および不備がある場合は、受理できないことがあります。
⑷ 出願書類に虚偽があった場合は、出願資格または合格を取り消します。
⑸ 出願書類は、証明書も含め、原則返却いたしません。
⑹ 出願後の志望学部・学科・専攻の変更はできません。
⑺ 本選抜ではプレゼンテーション資料や英語動画等に対する提出期間を設けています。提出期間内にこれらを提出できない場合は、選考ができなくなる可能性があります。

13　受験上および修学上の配慮について

本学では病気・怪我や障害などの理由で、受験や修学に際して配慮を必要とする志願者への支援をおこなっています。受験上の配慮を希望する場合は、出願期間が始まる前に申請が必要です。事前に余裕をもって本学アドミッション＆コミュニケーション部にお電話等で問い合わせてください。申請内容に基づき審査のうえ、可能な配慮を講じます。ただし、試験の形態や希望内容によっては、ご希望に添えない場合があります。また、出願後に不慮の事故や怪我等で配慮が必要となった場合も、速やかにご連絡ください。

※受験上の配慮と入学後の修学上の配慮は、環境が異なるため、支援内容が異なる場合があります。修学上の配慮に関するご相談は受験前からも受け付けております。配慮の相談や申請によって受験に不利になることはありませんので、安心してご相談ください。

14　受験票の送付

2026年9月24日（木）に出願者本人宛に本学から速達郵便で発送します。

※9月28日（月）までに受験票が届かない場合は、本学アドミッション＆コミュニケーション部へお問い合わせください。

※試験日前日までに受験票を紛失した場合は、本学アドミッション＆コミュニケーション部へご連絡ください。

15　受験上の注意

⑴ 本選抜はすべての選考を本学にて対面形式で実施します。

・試験日は、8時15分に開門し、受付を開始します。受験票にある指定された集合時間までに試験教室へ入室してください（時間厳守）。受付開始前の入構はできません。

・各試験教室への案内は、試験当日に掲示します。

・遅刻者は受験を許可しません。

※英語リスニング開始後の入室はできません。公共交通機関の遅延等、正当な理由がある場合は、受付に申し出てください。

⑵ 受験当日に用意するもの

・受 験 票：必ず持参してください。忘れた場合は、試験当日に受付で申し出てください。

・筆記用具：HBの黒鉛筆、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム

・時　　計：試験室には時計がありません。時報・アラームの設定は解除し、音が鳴らないようにしてください。
大型の時計、多機能時計およびウェアラブル端末は不可とします。
また、携帯電話、スマートフォン等を時計として使用することは認めません。

・プレゼンテーションに使用する資料

※プレゼンテーションソフトで作成した資料データは必ずUSBメモリに保存して持参してください。プレゼンテーションは本学の機器を使用します。使用できるファイルの形式は、「.ppt」「.pptx」「.pdf」です。

※国際コミュニケーション学科の動画データは持参する必要はありません。

・昼　　食：同日の午前と午後両方に試験のある方は持参してください。

※当日、学生食堂での食事の提供はありません。

※午前の試験終了後、次の集合時刻まで学外に出ることが可能ですが、集合時刻に指定された教室に戻る必要があります。

⑶ 受験票を紛失または持参し忘れた場合は、試験当日に受付で申し出てください。

⑷ 不正行為者には即時に受験の中止を命じ、全試験を無効とします。

⑸ 試験実施中に携帯電話、スマートフォン等を鳴らした場合、不合格となることがありますので注意してください。また、プレゼンテーション・面接の待機時間中も電子機器（スマートフォン、タブレット端末等）は使用できません。

⑹ プレゼンテーション・質疑応答・面接の順番は、試験当日に案内します。実施順により各自の待機時間は異なります。また、実施順に関する事前のお問い合わせにはお答えできません。

※最終プレゼンテーション・質疑応答・面接終了予定時間は18時00分頃。

⑺ 試験時間中および待機時間中は、試験官、係員の指示に従ってください。

⑻ 必ず公共の交通機関を利用してください。駐輪場・駐車場の用意はありません。

⑼ 受験者以外の方の本学への入構は認めません。

⑽ 地震災害、感染症その他の事情により、本学試験が所定の期日に実施できない場合、本学Webサイト等を通じて、変更情報をお知らせします。 https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/

⑾ 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は受験できません。発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。また、追試験・再試験等の措置、入学検定料の返還はおこないません。体調管理については十分に注意してください。

⑿ 英語テスト受験時や待機時間中のマスクの着用は、個人の判断とします。ただし、プレゼンテーションや質疑応答・面接試験中は、原則マスクを外してください。

16　合否結果通知の送付

⑴ 合否結果は、2026年11月2日（月）に本人宛に発送します。
11月5日（木）までに届かない場合は、本学アドミッション＆コミュニケーション部へお問い合わせください。
※Webサイト上や学内掲示での発表はありません。

⑵ 合格者には、合格通知書に入学手続要項・入学手続書類等を同封して速達郵便で送付します。

⑶ 合否に関する問い合わせ（入試の成績開示を含む）には一切応じられません。

17　入学手続

入学手続期間：2026年11月4日(水)～11月11日(水)（締切日消印有効）

入学手続は、初年度学費等の納入と、入学手続書類の提出によって完了します。合格通知書と共に送付する「入学手続要項」に従い、入学手続期間内に手続きしてください。

・初年度学費等納入金の支払方法は、「全納」と「分納」の2つの方法があります(延納はできません)。
・初年度学費納入金は本学所定の振込用紙を使用して金融機関窓口(ゆうちょ銀行は除く)で振り込みます。
・いったん納入された初年度学費等納入金および入学手続書類は、原則返還いたしません。
・入学手続書類は郵送とします。本学窓口で受け付けることはできません。
・入学手続期間の延長は原則として認めません。期間内に手続が完了しない場合は、入学資格が取り消されます。

※「高等学校卒業見込み」の出願資格で受験した方は、2027年3月31日までに高等学校を卒業することができない場合、入学許可が取り消されます。「高等学校卒業」と同等の資格を取得見込みの場合も同様です。

【初年度学費等納入金】

外国語学部		全　納		分　納※3	
		入学手続期間内		1回目(入学手続期間内)	2回目(2027年9月末)
学　費	入学金	200,000円	全納か分納を選択	200,000円	－
	授業料	980,000円		490,000円	490,000円
	教育充実費	330,000円		165,000円	165,000円
諸会費等	学友会費※1	5,000円		5,000円	－
	いしずゑ会費※2	10,000円		10,000円	－
合　計		1,525,000円		870,000円	655,000円

グローバル・リベラルアーツ学部		全　納		分　納※3	
		入学手続期間内		1回目(入学手続期間内)	2回目(2027年9月末)
学　費	入学金	200,000円	全納か分納を選択	200,000円	－
	授業料	1,160,000円		580,000円	580,000円
	教育充実費	350,000円		175,000円	175,000円
諸会費等	学友会費※1	5,000円		5,000円	－
	いしずゑ会費※2	10,000円		10,000円	－
合　計		1,725,000円		970,000円	755,000円

※1 学友会費は、学生生活の向上および充実を目的とした本学の全学生で組織された学友会(学生自治会)の活動費用に充てられます。
※2 いしずゑ会費は、「神田外語いしずゑ会」(同窓会組織)正会員となるための終身会費です。
※3 分納の場合、2027年9月上旬に2回目用の納付書を送付します。納入期限は2027年9月末日となります。

- 2年次以降の教育充実費は、外国語学部は毎年 410,000円、グローバル・リベラルアーツ学部は毎年 430,000円となります。
- 2年次以降の年間納入額は、外国語学部は毎年1,405,000円、グローバル・リベラルアーツ学部は2・4年次1,605,000円、3年次1,075,000円です(3年次の留学費用は別途かかります)。また、グローバル・リベラルアーツ学部には独自の奨学金制度があります。

入学金返還制度　～神田外語いしずゑ会　本人・子弟入学金返還制度～

両親・兄弟姉妹のいずれかが、本学または姉妹校・神田外語学院を卒業あるいは在籍している場合、「神田外語いしずゑ会」の入学金返還制度を利用することができます。本制度については入学後のガイダンスで案内します。

海外スタディ・ツアー費用支援制度

グローバル・リベラルアーツ学部での学びにおいて、極めて重要な位置づけである「海外スタディ・ツアー」(1年次前期実施)の基本的な留学費用(渡航費・現地授業料等)を本学が負担します。
※為替相場や航空券代などの変動により、海外スタディ・ツアーに関し、負担をお願いすることがあります。

高等教育の修学支援新制度

本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象機関です。同制度採用者には、入学後に減免相当額を還付いたします。入学手続時には、本制度利用の有無にかかわらず、初年度学費等納入金を一度納入していただく必要があります。
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

［参考（教育ローン）］

「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。
融資限度額：学生1人につき350万円まで　＊一定の要件に該当する場合は上限450万円まで
融資には審査が必要です。ご利用の際は時間に余裕をもって出願前にお申込みください。
〔お問い合わせ〕0570－008656（ナビダイヤル）　https://www.jfc.go.jp

「オリコ学費サポートプラン」（オリエントコーポレーション）　～大学・専門学校などと提携した教育ローン～

入学金や授業料などを立替払いとして大学へ振り込む、学費立替払い制度の教育ローンです。
https://orico-web.jp/gakuhi/index.html
＊入学手続のために利用する場合、入試区分により利用申請期間が設定されていますので、ご注意ください。

「ジャックスの教育ローン」（JACCS）　～大学・専門学校などと提携した教育ローン～

入学金や授業料などを立替払いとして大学へ振り込む、学費立替払い制度の教育ローンです。
https://www.jaccs.co.jp/service/credit/education/yuyu/

18　入学前教育（必須受講）

総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜の入学予定者には、「入学前教育」をオンデマンドにて必ず受講していただきます。計画的に取り組んでください。
「入学前教育」のすべてのコンテンツへの取り組みを期日までに完了しない場合、入学が取り消される可能性があります。
なお、大学生活をより有意義なものにするために、入学予定者を対象とした「入学前交流会」を本学キャンパスにて、1日開催します。入学前教育、および入学前交流会の詳細は、入学手続き完了後に通知します。

19　入学検定料の返還について

次の事由1～3のいずれかに該当し、返還申請が受理された場合は、入学検定料を返還します。
【入学検定料返還申請事由】

1. 入学検定料を納入したが、必要書類未提出のため出願が完了しなかった。
   ※プレゼンテーション資料等、出願受付後に提出が必要となるものが未提出の場合は、この条件にあたりません。
2. 入学検定料を納入し、必要書類を提出したが、出願が受理されなかった。
3. 入学検定料を納入し、必要書類を提出したが、誤って二重または過剰に納入した。

【申請方法】

本学アドミッション＆コミュニケーション部へ電話にて連絡後、「入学検定料返還申請書」（本学所定書式／本学Webサイトに掲載）を A4サイズの用紙に印刷し、必要事項を記入のうえ、指定された書類を簡易書留で期日までに郵送してください。

【申請受付期限】

2027年3月2日（火）締切日消印有効

【返金方法および返金時期】

申請者の出願状況や入学検定料納入の有無等について改めて確認した後、順次返金作業をおこないます。
入学検定料の返還には、返還申請受理後、1カ月程度かかります。また、返金は「入学検定料返還申請書」に記入された口座への振込をもって完了といたします。返還申請書の不備および不受理連絡以外の連絡はいたしません。

20　ノートパソコンの必携について

本学では、授業をはじめとした日々の学習活動を効果的におこなうために、個人所有のノートパソコンを使用します。推奨スペック等の情報は、合格者に送付する「入学手続要項」等でお知らせします。入学までに推奨スペック等の仕様を満たすノートパソコンを用意する必要があります。

21　入学試験 Q&A

項目	よくある質問	回答	ページ
出願	出願書類が出願期間内にすべて揃いません。 足りない書類はあとから送ることができますか。	必ずすべての書類を揃えてから出願してください。 出願期間を過ぎて届いた書類や、書類不足の場合は受理できません。	22
	出願書類を持参したら受取ってもらえますか。	本学の窓口では受理できません。 出願書類は必ず出願期間内に簡易書留・速達郵便で送付してください。	22
	出願書類を送ったあとに、志望学部などを変えることはできますか。	出願後の志望学部・学科・専攻の変更はできません。 また、プレゼンテーションテーマの変更も認められません。	22
	出願期間後に検定試験に合格しました。合格証書のコピーを持参してもよいですか。	出願期間を過ぎて届いた場合や試験当日に持参した場合は受理できません。	22
	志望理由書を規定の文字数以上書いてもよいですか。	規定の文字数・枚数におさめてください。	8
	インターネット銀行から入学検定料の振込みはできますか。	インターネット銀行からの振込みはできません。 金融機関の窓口（ゆうちょ銀行は除く）から振り込んでください。	22
	英米語学科とイベロアメリカ言語学科の両方を受験できますか。	本選抜では学内併願はできません。	7
	振込先が「サノガクエン」と表示されましたが、間違いではありませんか。	正しい振込先です。神田外語大学の正式名称は「学校法人佐野学園　神田外語大学」です。	22
受験票	受験票が届きません。	9月24日（木）に速達郵便で発送します。9月28日（月）になっても届かない場合は、本学アドミッション＆コミュニケーション部へお問い合わせください。	23
	受験票を紛失してしまいました。	紛失に気づいた時点ですぐにアドミッション＆コミュニケーション部に連絡してください。試験当日に紛失が判明した場合は、受付で申し出てください。	23
試験	英語リスニングはどのような方法でおこなわれますか。	一斉放送で音声を流します。音声は一度しか流れません。	－
	英米語学科を受験します。どちらのプレゼンテーションテーマになるのか、いつ教えてもらえますか。	試験当日に試験室で試験官から指示を受けます。どちらのテーマになっても十分に力を発揮できるよう、準備してください。	12
	英米語学科を受験します。両方のテーマの資料を提出するのですか。	2つのテーマ両方の資料を所定の期間内に提出してください。	9,11
	プレゼンテーション資料に写真を使用してもよいですか。	使用可能です。 他者の作品や製作物の場合は、出典を明示してご利用ください。	－
	出願時に提出した参考文献リストに追記したいのですが、どのようにしたらよいですか。	資料の追加提出はできませんが、当日のプレゼンテーションの中で補足することは可能です。	－
	参考文献を多く挙げた方が高い評価になりますか。	一概には言えません。 量が多くても質が伴わず、プレゼンテーションにいかされていないと判断される場合は、高い評価が得られません。	－
	プレゼンテーションソフトを使用した方が有利になりますか。	資料形態による有利不利はありません。 自分が最も表現しやすいと思う形態を採用してください。 ※英米語学科はプレゼンテーションソフトの使用が指定されています。	－
	良い機材を使用して動画を作成した方が有利ですか。	使用機材は問いません。内容が重視されます。	－
	開始するまでの準備時間もプレゼンテーションの時間に含まれますか。	プレゼンテーション開始前の準備時間は、プレゼンテーションの時間に含めません。 ※ただし、準備に時間を要し、開始に支障のある場合は、試験官の指示に従ってください。	20
	プレゼンテーションは資料を見ながら実施してもよいですか。	資料や台本、メモを見ながらプレゼンテーションができます。 ただし、スライド投影に使用する機器以外の電子機器（スマートフォン、タブレット等）の使用は認められません。	20

試験	プレゼンテーション試験の順番や終了時間を教えてもらえますか。	プレゼンテーション試験の順番や実施時間を事前にお伝えすることはできません。また、受験者が日時を指定することもできません。集合日時は受験票で通知しますが、実施の順番によって、待機時間が長くなる場合があります。 各試験日の全試験終了予定時刻は18時00分頃です。	23
	入試の成績は教えてもらえますか。	入試成績の開示はしていません。	24
その他	何人出願しているか教えてもらえますか。	出願状況についてお答えすることはできません。	－
	昨年の倍率を教えてください。	入試ガイドや本学Webサイトに過去の入試結果を掲載していますので、ご覧ください。	－

22　個人情報の取扱いについて

「個人情報」とは、学校法人佐野学園神田外語大学（以下、「本学」といいます）へ受験の申し込みをした受験者及び保護者（以下「申込者」といいます）の情報であり、申込者を特定できる情報をいいます。また、個人情報の一部であっても、他の情報と容易に結びつけることが可能であり、これにより申込者を特定できる情報についても個人情報とします。

本学では、取得した申込者の個人情報を、入学試験、合否発表、入学手続・準備、入学後の管理運営、志願者分析、およびこれらに付随する業務運営等の目的で利用します。また本学の教育・サービス向上のための分析等の目的で利用します。

本学は、運用にあたり、個人情報に関連する法令等を厳守し、適法かつ公正に、取得、利用、提供、保管および廃棄をおこないます。また、上記利用目的の限りにおいて、必要な範囲内で本学グループ機関等に申込者の個人情報を提供する場合があります。また、業務の全部または一部の取扱いを外部業者等に委託する場合があります。その場合、漏えい等を防止するために契約により義務付ける等の方法により、適切な管理を実施します。

本学は、保有個人情報につき、申込者からの利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、および利用や第三者提供の停止または消去の求めに対応します。手続の詳細については、本学の「個人情報保護への取り組みについて」をご覧ください。

本学の個人情報保護への取り組みについて：
https://www.kandagaigo.ac.jp/privacy/

本学の個人情報利用に関する問合せ先：
〒101-8525 東京都千代田区内神田2-13-13
学校法人佐野学園「個人情報の保護に関する学内委員会」
www@kandagaigo.ac.jp

Languages are the foundation to link the world in peace.

言葉は世界をつなぐ平和の礎
神田外語大学

KANDA UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES
アドミッション＆コミュニケーション部
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1－4－1
TEL. 043-273-2476
月～金 9:30～17:00　※土日祝および8/6～8/19は事務取扱を休止します
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/